

副町長就任のご挨拶



浪江町副町長
佐藤 良樹

先の12月議会定例会において議会の同意をいただき、12月17日付けで副町長に就任いたしました佐藤良樹と申します。これから浪江町の復興の歩みを確実に進めるよう、微力ながら精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

私は、昭和51年に浪江町役場職員となり、生活支援課長や総務課長等を経験させていただいた後、平成29年3月に役場を定年退職し、直近まで再任用職員として、まちづくり整備課で勤務しておりました。

この度、これまでとはまた違う立場で行政に携わることになり、重責に身の引き締まる思いでございます。

現在の浪江町は、震災から約8年、避難指示一部解除から間もなく2年が過ぎようとする中、生活環境は少しづつ整いつつあるものの、いまだに震災前とは大きな開きがあるのが現状です。また、役場の業務にお

いても依然として「復興業務」と「通常業務」の両輪を走らせなければならない状況です。

そのような中、幸いにも私は職員として、これまでいろいろな業務に従事しておりましたので、その経験を生かし、職員が業務しやすい環境をつくることが大きな役目と考えております。

吉田町長の政策、方針の下、国、県、さらには避難先自治体、近隣自治体などの関係機関と連携しつつ、職員や本間副町長と共に、町民の皆さまへの円滑な行政サービスの提供と復興事業の確実な推進に努力してまいります。

町民の皆さまにおかれましては、引き続き浪江町の復興に向け、お力添えをお願いし、私の挨拶といたします。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年の元日は、10年ぶりに「あるけあるけ初日詣大会」に参加し、まち・なみ・まるしぇから大平山靈園までの道のり3キロメートルを歩きました。約300人の町民の皆さんと平成最後の初日の出を拝み、今年もいよいよ始まるなという思いとともに、今後も町民に信頼される町政を推進していくという気持ちを抱きました。

翌2日は、請戸漁港出初式に出席し、色鮮やかな大漁旗で装った漁船19隻が雄々しく出港していくその姿に感銘を受け、復興創生への道のりは険しくとも必ずや成し遂げ、浪江町を次世代へ引き継ぐ決意を改めて固めました。

町は、最先端のまちづくりの実現と若い世代の方が働く場を確保するため、町内4か所に産業団地の整備を進めています。「町のこじ」と「町の復興創生」。実現に向けた歩みは確実に進んでいます。

復興の種まき

No.1



浪江町長
吉田敬博

ここから下は広告です。

不動産管理・土木・新築・リフォーム
のことならニーズにおまかせ！

無料見積します！
お気軽に
お電話ください



総合建設業・級建築士事務所
土地建物総合コンサルタント・環境資材販売

株式会社ニーズ浪江支店 0240-35-5833 / 070-2022-6958

浪江町役場北隣・114号線沿い 福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田4-1